

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 平成 29 年 10 月 30 日

設置・運営主体	ヒューマンスターチャイルド 株式会社		
設置主体	ヒューマンスターチャイルド 株式会社		
経営主体	ヒューマンスターチャイルド 株式会社		
事業所名 (施設名)	スターチャイルド 〈〈みなみ保育園〉〉	種別	保育所
所在地	〒 336-0021 埼玉県さいたま市南区別所6-15-22		
電 話	048-872-1000		
FAX	048-872-1234		
Email	minami@starchild.jp		
URL	http://www.starchild.jp/		
施設長氏名	庄子 美紀		
調査対応担当者	庄子 美紀 (所属、職名： 所長)		
利用定員	90 名	開設年	平成 22 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p>◆運営理念：かかわるすべての人が子育ての楽しさ、喜び、感動を共有できる保育施設を運営すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安心して利用していただくために、ハード（施設・設備等）ソフト（保育スキル、システム、訓練等）ともに最高水準の安全であること。 ○子どもの最善の利益を第一に考え、その上で保護者のニーズにも応えていくこと。 ○食事は生活の中心であり、安全な水、食材であることはもちろん、美味しく、楽しく食べられる配慮・工夫を追求すること。 <p>◆保育理念：子どもたちの無限の可能性を信じ、意欲を引き出し、伸ばす保育を実践すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保育所の最大役割である「養護」と「教育」を一体的に展開していくこと ＝「子どもたちが安心して元気に毎日を過ごす」場を提供すること。 ○子どもたちの『自発的な行動』を、実りある成長に結びつけるよう、刺激の与え方や、保育環境の構築に工夫すること。 ○豊かな感情表現とスキンシップ・コミュニケーションを大切にすること。 ○positive sentence—否定語、禁止語は極力使わず、肯定形による前向きな言葉がけを意識すること。 <p>◆職場理念：嘘や不正、差別、偏見を許さず、全員が楽しく、イキイキと、前向きに働ける職場を創ること</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保育者が健全に、いきいきと、前向きな気持ちで働ける職場であること。 ○嘘や不正、差別・偏見を根絶すること。 ○スターチャイルド社員として、「心」を追求すること。 <ul style="list-style-type: none"> * お互いの立場や考えを理解しあう、思いやりの「心」 * いつも明るく元気、笑顔で向き合える前向きな「心」 * 保育スキルの研鑽や、新しい知識の習得を志す向上「心」 * 自立と自律。自分で行動し、自らを律する強い「心」 * 「ありがとうございます」と素直に言える感謝の「心」 <p>◆目標・方針</p> <ol style="list-style-type: none"> ①良く考え、心身ともにたくましい子【自立と挑戦を支援します】 ②個性豊かな子【個性を尊重し長所を伸ばします】 ③やさしさと思いやりのある子【社会性＝人と関わる力を身につけます】 			
開所時間 (通所施設のみ)	平日	7：00～20：00	
	土曜日	7：00～18：00	

【利用者の状況に関する事項】

○成人施設の場合（老人福祉サービスを除く）

18歳未満	18～20歳未満	20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満
名	名	名	名	名	名
40～45歳未満	45～50歳未満	50～55歳未満	55～60歳未満	60～65歳未満	65歳以上
名	名	名	名	名	名
					合 計
					名

○老人福祉サービスの場合

60歳未満	60～65歳未満	65～70歳未満	70～75歳未満	75～80歳未満	80～85歳未満
名	名	名	名	名	名
85～90歳未満	90～95歳未満	95歳以上	合 計		
名	名	名	名		

○保育所の場合（通常保育）

	定 員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	8	8	1		3
1歳児	12	12	1		3
2歳児	16	18	1		3
3歳児	18	20	1		2
4歳児	18	20	1		1
5歳児	18	20	1		1
計	90	98	6	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

○保育所の場合

常勤職員数		19 人	
うち	保育士	17 人	保健師・看護師 0 人
	栄養士・調理員	1 人	その他（施設長） 1 人
非常勤職員数		17 人	（常勤換算 7.0 人）
うち	保育士	9 人	（常勤換算 3.2 人）
	保健師・看護師	0 人	（常勤換算 0 人）
	栄養士・調理員	5 人	（常勤換算 2.5 人）
	その他（ ）	3 人	（常勤換算 1.3 人）
<p>（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。</p>			
（２）前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 7 人	非常勤： 6 人
	退職	常勤： 6 人	非常勤： 2 人
（３）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		34.6 歳	（ 34.6 歳）
（４）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		2.6 年	（ 2.6 年）
<p>（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。</p>			

【本来事業に併設して行っている事業】

（保育所を除く）

（例）救護施設における通所事業（定員５名）

<p>（例）救護施設における通所事業（定員５名）</p>

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	
延長保育	○	
休日保育		
障害児保育	○	
一時保育		
地域子育て支援センター	○	
乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)		
アレルギー等対応給食	○	-
その他(事業名: トワイライト事業)	○	月齢により異なる

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・平成 28 年度におけるボランティアの受け入れ数(延べ人数)

13 人

・ボランティアの業務

- (1) 子どもたちの食事、保育等の手伝い
- (2) 遊び相手、プール遊び、レクリエーション指導
- (3) 施設内の整備、清掃の手伝い
- (4) 行事の準備や参加

【実習生の受け入れ】

・平成 28 年度における実習生の受け入れ数(実数)

社会福祉士 0 人

介護福祉士 0 人

その他 4 人 (保育士)

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○成人施設の場合

(1) 建物面積	m ²	
	入所(通所)者1人あたり	m ² (延べ床面積÷定員)
(2) 居室数 (入所施設の場合)	個室	室
	2人部屋	室
	3人部屋	室
	4人部屋	室
	5人以上の部屋	室
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成	年
(5) 主な設備		

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	690.3 m ²	
	児童1人あたり	7.7 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	270 m ²	
	児童1人あたり	3 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成	22年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

○日頃から利用者とのコミュニケーションを図ったり、話しやすい雰囲気作りをするなかで、意見・要望を伺っている。寄せられる意見要望は、園と本部で共有し、検討を重ねている。改善策を考案したり、的確な対応をスピーディーに行い、取り組めるものはすぐに保育に活かし、行事は次回へつなげ、次年度に取り入れるものについては事業計画に反映させる等、子どもたちの健全な育ちに繋がるよう前向きに取り組んでいる。
○玄関にご意見箱を設置している。意見があった場合の回答については本部より文書にて対応している。
○重要事項説明書には、ご意見ご要望、苦情相談窓口、第三者委員への相談方法を記載している。入園説明会で読み上げて案内している。
○クラス毎、または全園児の保護者にアンケートを配る時は、対象児童のクラスへ結果を周知している。
○玄関に第三者委員の名前と電話番号を大きく掲示している。

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

《給食 食育活動》

玄関脇に大きなガラス張りの給食室がある。園児や地域の利用者は毎日調理工程を覗いたり、美味しそうな匂いを嗅いで、できあがりの給食を楽しみにしながら廊下を通っており、食への関心を深めることができる。園児たちは、給食職員とガラス越しでふれあったり、子どもたちがプランターで育てた野菜を給食室まで届ける等、日頃からつながりが大きく身近な存在であり、給食職員に感謝の気持ちが芽生えている。また月1回栄養士が中心となり食育活動の一環としてクッキングを実施している。2歳児クラス以上が行っており、絵本のストーリーに合わせてクッキングをしたり、買い物をした食材を使って料理をしたり、ケーキ作りからパーティーに発展させたり、様々な工夫をして子どもたちの食への関心を深めている。栄養士は、冬に年長児に向け、三大栄養素についての講和をし、丈夫な体を意識するきっかけ作りをしている。給食室前には園おやつのレシピ紹介コーナーを設置し、利用者に自由にレシピを持ち帰ってもらっている。園の手作りおやつに関心をもってもらうきっかけを作っている。

《市からの要請を受け、トワイライト事業、子育て支援センターや赤ちゃんの駅、育児相談の事業展開》

地域の保育ニーズに合わせて事業展開をし、子育て状況に配慮して子育て支援を積極的に実施している。トワイライト事業は平日17時～22時まで地域の小学2年生までの預かりを食事の提供も含めて受け入れている。子育て支援センターは週3日、子育て家庭を対象に支援事業をしている。園庭開放や英語講師による活動、ボランティア団体による読み聞かせ会などが行われている。（その他誕生会、身体測定、製作遊び、季節により水遊びなどイベント多数あり）赤ちゃんの駅では、オムツ交換や授乳場所の提供などに協力している。育児相談では専門性を活かして、栄養士や保育士が随時相談に応じている。

《ボランティア団体による絵本の読み聞かせ会（月1回）》

《外部講師による英語教室（月2回程）》

《外部講師による体操教室（月2回程）》

3歳児クラス以上が活動に参加している。子どもたちの健やかな成長と楽しい保育には欠かせない時間となっている。

【第三者評価の受審状況】

・ 受審回数（前回の受審時期）

1 回 （平成 24 年度）